



RD11 04. 7. 25.

### 「夫の病気を通して…」

今回のインタビューは、丸子教会の横山明子先生です。先生は新潟県の越後三条教会に、六人兄弟の二女としてお生まれになりました。昭和四十五年に教師を拜命され、現丸子教会長横山光雄先生と昭和五十年に結婚されたからは、丸子教会で日々御用に励まれています。

今回は、平成十二年に夫である光雄先生が心筋梗塞で倒れた前後の、おかげを受けられた話を聞かせて頂きます。

☆教会長先生が倒れる前に、なにかお知らせのようなことがあったと聞きましたか。

「主人が倒れる少し前に、不思議な夢をみたのです。詳細については、触れませんが、当時主人はとても元気でありましたので、まさかと思いました。主人の亡くなった母が夢に出てくれ、「子どもの幸せを願っておられる。いのちに関わることを教えられませんでした。「なぜこんな夢を見たのだらう」、そのことが気になっていたのです。」

そうしたら、この度の病気が目の前にふりかかってきました。」

☆ びっくりされたのではないですか。『夢を見させてもらった時は、亡くなっても親は子供の幸せを願っておられる。しかも嫁の私が夢を見ることが出来たと感激致しました。この夢を通して一段とご先祖様を大切にさせて頂く』

川でスベって山でコロんで…とってきました

## interview

### 第8回 横山明子先生 (丸子教会)



うどの思いになりました。」

☆発作が起きた時は、びっくりされたのではないですか。

「発作が起きる直前までまったく普通の生活をしておりました。夜の御祈念の後、胸の苦しみを訴えて倒れた時には驚きました。次の日に意識が戻るまで、おかげの連続でした。」

倒れて救急車で最初の病院に運ばれまし

たが、「うちでは手に負えない」と言われ、別の専門の病院を紹介して頂き、その時「私が責任持つから」と言って最初の病院の当直の医師が、次の病院へ搬送するまでの間、救急車に乗り込み、あらゆる処置して下さいました。これがまたおかげでした。

そして、次の病院に着いたのですが、色々な噂では評判の良い病院だったそうです。しかし、病院に到着し、待機されていた医師が心臓の専門医で、的確な判断をしてくださり、大変なおかげを頂きました。

その後も、入院中は昼間の外出が許され、時には外泊で教会に帰ってきて、月例祭やご祈念等、教会の御用をしながらの生活ができました。親先生も体調は決してよくなかったのですが、神様と共に、御霊様が「みんなが立ち行くように」と応援して下さいるようで、とてもありがたかったです。」

☆ その後も手術が続いたり、大変だったでしょうね？

「術後、金属アレルギーにより計八回も手術することになりましたが、主人は何一つ不足や不満を言わず、「神様から助けて頂いた」という気持ちを大切にしているようです。今は全てがありがたく、寿命一杯御用をさせて頂きたい、と願っております。」

☆ ありがとうございます。(今村則子)

## 女性のつどい

“いけばな”を通して“道”を学ぶ

6. 26. SAT 11:00~15:00

去る6月26日(土)に、武蔵小杉教会で、今年2回目の『女性のつどい』が行われました。

前回に引き続き、講師には麻生信吉さん(登戸教会信徒・池坊準華督)を迎えて～“いけばな”を通して“道”を学ぶ～の第2回目、今回は実践編でした。



← 指導中の  
浅生さん

午前中は前回のおさらいでした。前回参加できなかった私(筆者)にとっては、とても嬉しいことでした。

「花に命を与えないと“いい花”にならない。“いい花”とは、心が和む花・元気が出る花のことです。怒った気持ちでいけると怒った花、楽しい気持ちでいけると楽しい花になります。その楽しくいけた花を見ると、楽しい気持ちになります。これはお花だけの話ではありません。絵だったり…他にもいろいろあると思います。金光教でも『よい話をしていく運動』をしています。これも良い話を聞いて心が和み、元気な気持ちになるということでしょう。」といった内容のお話でした。

そして、午後は実践編です。「自由な発想で楽しくいけてください」とのこと、簡単な説明の後、フィルムケースなどを使って“ミニチュア”(いけばなの型の一つです)に挑戦!! 私は悪戦苦闘していましたが(汗)、二つもいけていた方もいらっしゃいました。中には持参した花器を二段に重ねて、独創的な空間を作っていた方もいらっしゃいました。

最後に先生が、皆さんのいけたお花の一つ一つに対して、本人の前でコメント! ハラハラドキドキです。(笑)「ここが良いですね。ここを直すともっと良いですね。」と言う優しい言葉の中にも、きっちりとしたアドバイスを下さいました。

分りやすく楽しいお話と、可愛いお花をいけて、充実した楽しい時間を過ごす事ができました。ありがとうございました。



↑ 皆さん、結構真剣…です。

今回のお昼は、武蔵小杉教会の一番ヶ瀬さんがざるうどんを、子安教会の村田佳代子先生がかき揚げを用意してくださり、とても美味しい昼食でした。ごちそうさまでした。

(南 恵子)

PLACE: 武蔵小杉教会

平成16年7月1日(日)午後1時30分より、金光教鶴見教会において「第7回 講話と夕食の会」が信徒部主催で開かれ、20名の参加であった。今回は、「新しい教祖伝を読んで、金光大神の教えを現代にどう生かすか」をテーマに、若手教師によるパネル討論を中心に進められた。パネルには、横山光雄先生(丸子)、山田信二先生(横浜西)、今村則子先生(生妻)が招かれた。

(神奈川教会 吉田章一郎)

#### ☆今村則子先生

修行について感じ取ったこと。

##### ▼金光大神の眼識(スイカの初なりP462)

教祖の理解には、参拝者の心境や状況を見抜くまなざしがあった。スイカをお供えに向かう途中で空腹の子供に与えてしまった信者が、すでに神様は喜んでお受け取りになったと教祖のお言葉を受けられた。神様が本当に喜ばれることは何かを示唆するものであり、はだしの行と同様、神様の願いと周囲の助かりを常に願っておられたと思う。信心には自分で練りだす面があることを改めて感じ取った。

▼日常の生活で出来る心行(百日修行P487)  
物事が思うように進まないら立ちの中で、ちょっとしたことに怒りを覚えてしまうことがある。神様から修行のチャンスを頂いたのに、心が神様に向かっていなかったと、後から反省する。日常の中で出来るはずの心行がなかなかできない。

#### ☆山田信二先生

教祖伝を読んで、教祖の生きられ方を学び、自分の生き方と照らし合わせる事ができたこと。

##### ▼私たちの反省。

私たちは、神様と方通行のお付き合いになっていないだろうか。教祖は、神とあいよかけよで生きられ、願いを共有された。神様が手伝ってくださる場面(唐F1の話)、神様が励ましてくださる場面(六角壺の取り払いなど)がたくさんあり、神様の願いを受けられる教祖(立教神伝)であった。

##### ▼世界を視野に入れた願い。

大谷村から、日本という意識へ、唐、天竺と世界へ、世界の難儀を受け止めるくぼい所という認識が教祖にあった。宮建築では、村の氏神社ではなく、世界に向けた広前という意識。これらを考えると、私たちは、現在の教会を「村の金神社」という狭い認識で捉えていないだろうかと反省させられる。

## 第7回 講話と夕食の会

「金光大神の教えを現代にどう生かすか」

7.11. SUN13:30~

#### ☆横山光雄先生

病気と信心について、自分の体験を通して思うこと。

##### ▼病気は信心によって治ることを実感。

突然の心筋梗塞で手術を受け。金属アレルギーで八回の手術を受けた。手術後目がさめて生かされていることを実感した。当たり前ありがたい、安らぎを実感した。

##### ▼信心によって心が治り、体が治る。

教祖伝を読んで、今回の病気は「おかげの受け初め」と受け取り、感謝の気持ちが出てきた。教祖は四十二歳の患のときに、前々のめぐり合わせ、無礼に気づかれ、お詫びをされ、そこからお礼が生まれた。人としての多くの無礼を詫びることから、まだ気づいていない自分が見えて、お礼の気持ちが生まれてくるものである。

##### ▼医師との対話で共通認識が生まれる。

手術道具にも礼を言えることが大切との話を医師に受け止めていただき、今までは、自分が手術をしているとの意識だったが、今回は、周りにもお礼が言えるようになったとの言葉を聞き感動した。

#### パネル発表

(教祖伝の感想と意見)

PLACE: 鶴見教会

## 東京センターより

☆公開講座 こんこうセミナー2004

### 金光大神の宗教運動と現代 —「民衆宗教運動の神学」事始め—

▼日時 — 第3回 9月11日(土)

第4回 11月6日(土) \*いずれも14時~16時まで

▼講師 — 渡辺 順一氏 (元金光教教学研究所部長)

▼参加費 — 300円

▼会場・問い合わせ — 金光教東京センター

(03-3818-6321)

や  
ま  
が  
み  
通  
信

## 連 合 会 よ り

☆信心研修会

教祖伝『金光大神』に見る世界

▼日時 — 9月4日(土)

13時より16時30分

▼内容 — 講話・パネルディスカッション

▼講師 — 浅野善雄師 (本中野教会長)

▼パネラー — 福田光一先生 (南甲府)

山田尚子先生 (横浜西)

高橋正登さん (生 妻)

吉岡裕子さん (鎌 倉)

☆信率者のつどい

“観音崎でキャンプ”

▼日時 — 8月14日(土)

10時30分現地集合~

15日(日)13時解散

▼内容 — 舎営キャンプ、花火、海水浴

▼参加費 — 大人 2500円

小人 1500円 (高校生以下)

\*いずれの集会も、お問い合わせは…

子安教会 村田光治045-421-

1927までお願い致します。

## 〈 恋 ・ が ・ れ 〉

友達だからケンカもするんだよ

生妻教会 今村國廣

新一年生も、だいぶランドセル姿に馴染んできました。そんな中、ある一年生が学校で“道具箱”を隠されたそうです。隠した児童の母親から謝罪の留守電が入っていて、両親は一瞬“いじめ”の思いにかられ、心穏やかでない気持ちになりました。

「学校の先生に話しておいた方がいいのではないか」等々考えているうちに、遊びに行っていた本人が帰ってきました。

「学校で道具箱隠されたんだって？」と聞いてみると、「そうだよ。そんなの友達だからいいんだよ。友達だからケンカもするんだよ。」と平気な顔で言う。

両親は、思いもかけぬ返答に信心のお育てを頂いているお礼を申したのでした。

金光教 神奈川 山梨教会連合会

発行者 南 清 孝

編集責任者 横 山 光 雄

川崎市多摩区生田五―二四―九

金光教登戸教会内